



誰もが孤立せず、支え合える 地域づくりを目指して！

人と人のつながりが深まる地域社会へ！

3月14日、地域から孤立する人が生まれないような地域づくりを目指すため、「誰もが孤立しない地域づくり講演会」を小林市文化会館で開催いたしました。宮崎大学教授の境泉洋氏からひきこもりの心理と支援、ジャーナリストの池上正樹氏からひきこもり・8050問題への対応と支援などについて講演いただきました。

池上氏からは、「親が良かれと思って先回りをしてしまうと、本人を傷つけ、生きる力を奪ってしまう。それよりもさりげないあいさつや連絡事項など、本人に負担にならない言葉かけを続けていくことで、気にかけてくれている、放っておかれていないという安心感、肯定感につながる」と話がありました。また、講演会終了後は講師とひきこもり家族会との懇談の場を設け、講師から直接助言や励ましのお言葉をいただき、元気をチャージしたひとときでした。

市内外から200名以上の参加があり、ひきこもりについて理解を深めていただくことができました。

なお、この講演会は、こばやしライオンズクラブ60周年助成金により実現することができました。



ジャーナリスト 池上正樹氏



宮崎大学 教授 境泉洋氏

ひきこもり調査小林版・ひきこもりサポーター養成講座

国の最新のひきこもりの調査結果では、15～64歳の50人に一人がひきこもり状態にあることが報告されました。4年前の調査と比較すると倍にあたる数になっており、長く続いたコロナ禍の影響が考えられますが、一人一人が置かれた状況や抱える課題は国の調査だけでは見えない部分が大きいです。

小林市社会福祉協議会では、重層的支援体制整備事業の一環で、ひきこもり状態にある方の支援も行っており、この度、ひきこもり調査とサポーター養成講座を実施しました。

ひきこもり調査小林版

市内で介護や障がいや生活困窮など様々な分野の相談員の方々を対象に調査を実施しました。今回把握された内容は、ひきこもり状態にある方のごく一部ですが、調査で見た実情を今後の支援に活かしていきます。

●有効回答数 69

✓把握しているひきこもり状態の方…33人

✓世帯構成…半数以上は親と同居。一人暮らしの方10人。

✓性別…男女比はほぼ同等

✓年代…40代以上が7割以上

✓病気、生活費、仕事、家族や近隣との関係など複数の困りごとを抱えながらも、必要な手助けにつながっていない様子が浮かび上がりました。

ひきこもりサポーター養成講座

様々な生きづらさから始まるひきこもりについて理解を深めるため、当事者の方やご家族の方の心理状態を学んだり、ピアサポーター注1)の方と対話交流したりしました。

注1) ピアサポーター

…同じ悩みを持つ仲間
立場から支援を行う人



「地域福祉座談会」を行いました

令和4年3月に策定した「第4期小林市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を着実に推進していくために、令和5年2月から3月にかけて、校区地区社協役員を中心に地域福祉座談会を行いました。座談会参加者から「ごみ捨てのルールを守らない人が多い」、「地域における担い手が少ない。」、「コロナの関係で行事が少なくなり、住民同士の交流が少なくなった。」、「これからは助け合わないといけない時代であるが、『人は人、自分は自分』になってきている。」等の様々な意見が出ました。

地域福祉座談会では、参加している方々より地域の様々な意見を聞き、地域に対する思いは強く、地域のことを真剣に取り組んでいることを改めて感じました。

この地域福祉座談会は社会福祉協議会と市民のみなさんと地域の魅力や資源、地域が抱える困りごとを一緒に考える場として地域福祉座談会を開催しました。

地域福祉座談会開催につきまして、関係地区の区長、区の役員、民生委員、友愛クラブ会員、地域のみなさんにはご協力、ご参加いただき誠にありがとうございました。

令和5年度も地域福祉座談会を計画しますので、みなさんの「ともしながり支え合い、安心して笑顔で暮らせる福祉のまちづくり」への取り組みや意見をお聞かせください。



お問い合わせ
須木支所
48-2073

ボランティア体験事業 ～暮らしの困り事助け隊～

12月26日に須木中学校の生徒を対象としたボランティア体験事業が実施されました。当日は生徒12名、サポーター5名が参加されました。始めにボランティアについて学習した後、3班に分かれて、清掃等のボランティア体験を行いました。訪問先の一人暮らし身体障がい者・

知的障がい者・認知症高齢者の方と普段の暮らしなどについてお話を伺いながら、一生懸命作業を行われていました。



一人暮らし高齢者会食会 開催

11月21、28日に「一人暮らし高齢者会食会」が開催されました。始めに、柚木崎美紀世様の伴奏で昔懐かしい歌を歌われました。その後、民生委員やボランティア連絡協議会といったボランティアの方々が作られた混ぜ飯、だご汁、酢の物といった自分一人では作り、食べる機会の減ってしまった昔懐かしい料理を食べられました。免許の返納などにより気軽に外出することが難しく、会う機会の減ってしまった友人との久しぶりの昔話に花を咲かせていました。終了時間となっても、まだ話し足りない様子であり、是非、また開催してほしいとみなさんが話されていました。



お問い合わせ
野尻支所
44-1206

宿題お助け塾・ボランティア体験!!

12月24日に地域ボランティア・学生ボランティアが、小学生（6名）の冬休みの宿題を手伝いました。また、小学生とボランティアと一緒に街頭募金（共同募金）の活動を行いました。寒い中でしたが、買い物に来られる皆さんから「頑張ってるね」と声をかけていただき、元気よく募金のお願いをしていました。

夏休みには、工作・絵・習字等の宿題お助け塾を開催します。「楽しかった」「宿題が終わって良かった」「また、来たい」等の声も毎年ありますので、小学生の皆さん是非参加してくださいね。



宿題お助け塾 ボランティア募集

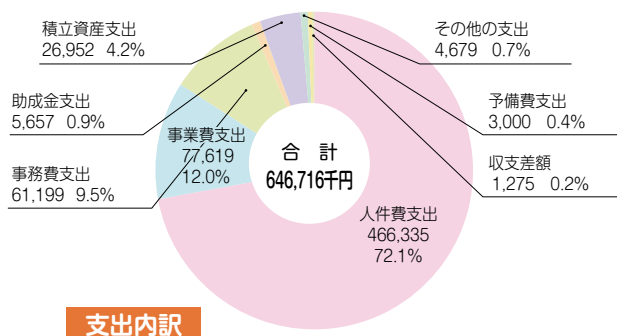
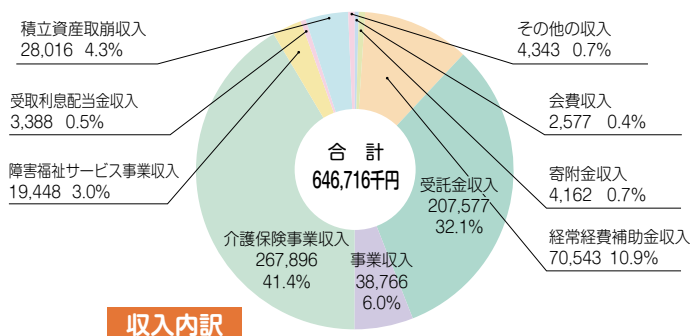
野尻地区のボランティアを随時募集していますので、興味のある方は野尻支所までお問い合わせください。

野尻支所 ☎0984-44-1206

野尻支所Facebook



令和5年度 事業計画及び当初予算



基本方針

小林市の人口は減少傾向にあり、2040年には約33,887人、高齢化率は42.2%まで上昇する見通しです。そして、地域住民が抱える課題は8050問題やダブルケア、生活困窮者の増加、子どもの貧困、社会的孤立など複雑化・複合化してきています。この課題の背景には、住民相互のつながりの希薄化や家族形態の変容等があるとされています。

これらの状況を踏まえ小林市と小林市社会福祉協議会は、令和4年度から令和8年度における「第4期小林市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しました。

この計画を確実に推進していくため、小林市社会福祉協議会では更なる地域福祉の充実強化を図ります。地域のつながりの再構築を図ることを目的とし、小地域福祉活動の展開・活性化について、特に校区・地区社会福祉協議会の組織づくりを重点的に実施し、ボランティアや福祉協力員等の地域の福祉人材の発掘や養成を推進します。さらに、「生活支援体制整備事業」及び「重層的支援体制整備事業」において、個別支援と地域支援の一体的な展開を推進し、相談支援及び社会資源開発、多分野多世代がにつながる地域づくりを連携して推進していきます。

法人の組織強化については、職員がそれぞれの立場で社協の使命・目的・機能を理解し、社協職員として自覚と責任ある行動を行い、専門性を高めていくための必要な人材育成を推進していきます。また、職員が安心して勤務し、事業が安定的に継続できるよう処遇の改善を行います。

経営改善の取り組みについては、業務整理・改善等による事業収入の確保・経費削減を推し進め、重点的にシルバーランド望峰の里において新規事業開発による自主財源の確保を図ります。

令和5年度は、4年目に入る「小林市社会福祉協議会第1次中長期経営計画」を評価・見直しを踏まえて進行管理を行い、引き続き社会情勢や地域福祉を取り巻く状況をしっかり捉え、地域生活課題の解決に向けた支援を創造する「連携・協働の場」になることを目指し、「地域共生社会の実現」に向けて、住民主体の地域福祉活動を推進していきます。

小林市社会福祉協議会の使命と理念並びに小林市地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本目標を具現化するため、3つの重点項目と4つの部門計画を設定、事業所ごとにPDCAを導入し推進します。

1 重点項目

(1) 社協・生活支援活動強化方針への取組

国は、「地域共生社会の実現」を今後の福祉改革の基本コンセプトとしています。その具現化に向けた事業・活動の展開の方向性とし小林市社会福祉協議会は、本来の基本的な役割である地域福祉をさらに推進するため、この方針を重点項目として事業展開を行います。

(2) 安定した経営と収益改善

安定した経営と収益改善をするために、補助・委託事業等の委託元との協議、会費や寄付金等の自主財源の確保、介護保険事業・障がい福祉サービス事業の経営改善を今後の喫緊の課題として取り組みます。

(3) 人材育成の強化と処遇適正化

小林市社会福祉協議会が今後も地域に求められる組織として継続し、小林市の地域福祉を着実に推進していくためには、将来を見据えた職員の採用計画や人材育成が重要です。機能的な組織体制づくりを行い、社協職員として資質の向上と職責に応じた処遇の適正化を行います。

2 部門計画

(1) 法人経営部門

社会福祉法人制度改革に伴うガバナンスの強化、災害対応や不祥事防止等のためのリスク管理、人材確保・育成・定着を進めるための高度な人事・労務管理に取り組みます。また、介護報酬改定等の度重なる制度変更に応じ会計を通じて経営実態を把握し、業績評価と意思決定を行う財務管理等、総合的な企画や各部門間の調整等を行うマネジメント業務を行い経営基盤の確立に努めます。

(2) 地域福祉活動推進部門

小林市地域福祉計画・地域福祉活動計画を基本とし、地域福祉を推進する中核機関として、地域住民や地域のあらゆる団体・組織と協働して地域生活課題を把握し、その解決や地域づくりに向けた取り組みを計画的・総合的に推進するとともに、福祉教育・ボランティア活動を通じた地域住民の主体形成、地域の組織・関係者の協働を図ります。

(3) 相談支援・権利擁護部門

一人ひとりの住民が、身近なところで必要な支援を受け、社会とのつながりをもちながら、住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援を行います。複合化・複雑化した課題に的確に対応するために、支援関係機関が連携協働して「断らない」相談を行う体制を構築します。

(4) 介護・生活支援サービス部門

可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、利用者の福祉ニーズにきめ細かく対応し、支援します。また、サービス提供を通じて地域生活課題を把握し、地域福祉活動推進部門や相談支援・権利擁護部門と連携しながら、新たな社会資源やサービスを開発するほか、地域住民の福祉活動等と協働する等、包括的な支援体制をめざし社協らしい事業運営を展開します。

小林市社会福祉協議会使命

『小林市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核組織として、誰もが住みやすい地域で、尊厳をもって安全で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを、住民参画と協働によって、積極的に推進します。』

小林市社会福祉協議会理念

【住民参画と協働によるお互い様おかげ様の福祉社会づくり】

住民参画と協働により、お互い様おかげ様の福祉社会づくりを住民主体で実現します。

【利用者本位の福祉サービスと先進的取り組みの推進】

利用者本位の精神で、地域に根ざし地域に貢献する福祉サービスを提供し、必要な先駆的取り組みも推進します。

【総合相談を課題解決志向で支援】

地域の多様な福祉課題・生活課題について、総合的に相談を受け付け、分野を超えて解決できる、課題解決志向の社会福祉協議会を目指します。

小林市地域福祉計画・地域福祉活動計画基本目標（令和4年度～令和8年度）

基本理念

「ともにつながり支え合い、安心して笑顔で暮らせる福祉のまちづくり」

基本的な視点

- 1 高齢者、障がい者、児童などの枠組みにとらわれず、支援が必要な人を総合的・包括的に支える仕組みづくり
- 2 住民主体による支え合いや交流が進む地域、人づくり

基本目標

- 1 分野を超えた総合的・包括的な支援を提供できる体制づくり
- 2 地域の中で誰もが安心して生活できる地域づくり
- 3 地域の課題に地域で取り組むことができる体制づくり

地域福祉事業の推進

法人運営事業

予算額 101,459千円

●法人運営費

理事会・評議員会運営、本所・支所運営

●福祉総合相談事業

相談業務の機能を集約し、高齢者、障がい者、児童、生活困窮者、権利擁護など、制度では対応しづらい福祉課題も含めて包括的な相談支援体制を構築します。

●弁護士相談事業（年34回）

弁護士による無料法律相談を行います。（相談者一人当たり30分）

●福祉バスの運行

地域福祉を推進する福祉関係団体等が、研修会、講習会等を実施するのに交通手段としてバス（41人乗り）を貸し出します。

●福祉用具・福祉車両無料貸出

【福祉用具】身体の機能が低下し、在宅での日常生活を営むのに支障がある高齢者や、障がい者に福祉用具（ベッド・車いす等）を無料で貸し出します。
【福祉車両】在宅での生活で、自立歩行が困難な方の通院の交通手段として利用するために、車いすのまま乗用できる車を無料で貸し出します。

●福祉活動物品の貸出

地域福祉の充実強化を図るために、ボランティア団体や自治会、友愛クラブや障がい者団体などに福祉活動物品を無料で貸し出します。

●地域福祉活動計画

「ともにつながり支え合い、安心して笑顔で暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念とし、地域福祉の推進を行っていきます。基本的な視点として、「高齢者、障がい者、児童などの枠組みにとらわれず、支援が必要な人を総合的・包括的に支える仕組みづくり」、「住民主体による支え合いや交流が進む地域、人づくり」を目指します。

●会議室の貸出

地域交流の場として、会議室を8時から21時まで貸し出します。

●いきいきサロン助成

いきいきサロン団体に助成を行います。

●地域見守り応援活動推進事業

高齢者や障がい者、児童など支援が必要と思われる方への見守り活動を、民間業者の協力を得ることで更なる推進を図ります。

●小林市社会福祉法人連絡会

市内の社会福祉法人が分野を超え連携し、地域の福祉課題解決についての協議や研修を行います。

●みやざき安心セーフティネット事業

社会福祉法人の社会貢献の取り組みとして、生活困窮者等の自立を支援することを目的に、関係機関で連携・協働しながら総合生活相談事業や経済的援助を行います。

地域福祉推進事業

予算額 3,937千円

●校区地区社協

小学校区などの広い対象地域において、その地域で生活している人々が自らの参加により、地域福祉活動を行い、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを、地域住民自らが自主的に実践するために結成された組織です。世代間交流や防犯活動、敬老大会、一人暮らし高齢者食事会、見守り活動などを支援します。（小林市補助事業）

●いきいきサロン

公民館など、歩いていける身近な対象地域において、地域に住む人たちの出会いの場、交流の場、仲間づくりの場として結成された組織です。楽しみながら行うのが特徴で、実施するものも、楽しむものも、地域の方々です。閉じこもり防止、介護予防、健康増進など小地域で支えあう地域福祉事業の自主的な活動を支援します。（小林市委託事業）

ボランティアセンター活動事業

予算額 1,467千円

●ボランティアセンター

ボランティア活動に関する相談や斡旋、ボランティア団体の活性化・連携のための支援を行います。

●福祉バザー

市内の福祉団体や、ボランティア団体が出店し、「お互いに助け合う、心豊かな福祉のまちづくり」を展開するために、フリーマーケット方式で実施します。

●ボランティア体験事業

ボランティア活動に対する関心を広く喚起することを目的とし、ボランティアを体験できる機会を提供します。

●家庭訪問型子育て支援ホームスタート

育児に悩む世帯に対してボランティアが訪問し、傾聴を行います。そのための職員の養成研修、ボランティアの養成講座を生活支援コーディネーターと連携して行います。

●福祉教育事業

福祉に対する理解を深め、住民の福祉活動への参加を促進するため、学校及び地域での普及・啓発活動を行います。

●災害ボランティアセンター設置準備

災害ボランティアセンターを設置・運営するための研修及び備品の購入を行います。

日常生活自立支援事業

予算額 4,230千円

日常生活に不安を抱えている高齢者・認知症高齢者・知的障がいのある方・精神に障がいのある方の福祉サービスの手続きや日常的な金銭管理のお手伝いを専門員・生活支援員が行うことにより地域の中で安心して生活できるよう支援します。（宮崎県社協委託事業）

成年後見センターこばやし

予算額 13,401千円

高齢者や障がい者の意思能力や生活状況に応じて成年後見制度を活用し、財産管理や身上監護を中心とする権利擁護サービスを提供します。

緊急資金貸付事業

予算額 1,500千円

市内在住の方に対し、緊急出費により生活費が不足した場合等に、限度額5万円とし無利息で貸付を行います。

生活福祉資金貸付事業

予算額 9,034千円

低所得者、障がい者世帯、高齢者世帯に対し、在宅福祉、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に貸付を行います。（宮崎県社協委託事業）

介護職員初任者研修事業

予算額 630千円

高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で安心して生活できる地域づくりを推進するため、介護に必要な知識・技術を持ち、地域社会に貢献できる介護職員を養成することを目的として研修を実施します。

生活支援体制整備事業

予算額 3,575千円

生活支援コーディネーターを配置し、生活支援サービスの開発やその担い手を養成・発掘などの地域資源の開発やネットワーク化を進めていきます。

指定管理事業・受託事業

事業	予算額（千円）
小林市生活自立相談支援センター受託事業	21,320
野尻町保健福祉センター受託事業	6,993
西部いろり村受託事業	313
小林高齢者給食センター受託事業	49,327
野尻高齢者給食センター受託事業	22,406
小林市地域包括支援センター受託事業	94,383
小林市西部地域包括支援センター受託事業	33,380
重層的支援体制整備受託事業	12,606
生活困窮者支援等のための地域づくり受託事業	807

介護保険等事業

事業	予算額（千円）
居宅介護支援事業	24,444
小林訪問介護事業	23,706
須木訪問介護事業	13,323
訪問入浴介護事業	6,295
望峰の里デイサービス事業	53,858
ぼうぼう元気教室事業	7,481
パワリハ倶楽部事業	15,962
須木運動クラブ事業	1,737
小規模多機能ホーム茶のん村事業	65,393
グループホーム茶のん村おんわ事業	38,621
障害者相談支援事業	2,857
小林障害者居宅介護等事業	12,664
須木障害者居宅介護等事業	312
障害者訪問入浴サービス事業	2,984

赤い羽根

小林市共同募金委員会

共同募金



令和4年度募金総額

8,719,601円



赤い羽根共同募金運動に、ご協力をいただき誠にありがとうございました。「みんなが大変な時だからこそ、今、私にできることを何かしたい!!」「今まで、福祉と言われる分野に関わりがなかったから、少しでも社会貢献をしたいと思って」とのお声に励まされながら、多くの方々から温かな思いやりや優しさを感じる一年でした。戸別募金をはじめ法人や学校など、ご協力いただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。

戸別募金 一般：4,703,890円 歳末：1,549,176円

小林市内のすべての区（区長に取りまとめていただきました）

個人募金 一般：309,996円 歳末：73,200円 (五十音順・敬称略)

赤崎 三巳	後野美英子	有水 睦治	有馬千鶴子	池田 一郎	井手ロイツ子	植木 清文	上蘭ナツ子
内田 邦夫	宇都 暁美	大木場俊弘	大丸 誠子	小川 浩二	鬼目 明郎	折口 雅信	柏木ミチ子
加藤 利男	鎌宮 玲子	川野 律子	木村まち子	栗屋 鈴子	佐藤 秀樹	嶋岡 豪士	下蘭 玉子
田原 勝人	泊 トヨ子	中島 俊子	中島 信行	永田 睦男	永野ミツギ	中屋敷文子	西立野クニ
能勢 誠	橋満 進	福澤 伸子	藤崎 桐江	堀 正徳	堀之内和利	本田 澄子	前田トミ子
前田 信志	松下千代子	松田 憲市	丸田 宏子	宮窪トシ子	安影 シメ	柳川けい子	山下まりな
山田美代子	山元アキ子	吉丸 政志	和田 京子	他3名			

街頭募金 一般：531,067円

コープみやざき小林店 サンキュー小林店 トライアル小林店 プラッセだいわ小林店 松栄西町店
 鮮ど市場小林店 マルミヤストアー小林店 希望の店野尻店 小林市役所
 (協力団体) 民生委員児童委員協議会 ボランティア連絡協議会 社会福祉協議会理事会 共同募金助成団体 ガールスカウト宮崎県連盟第14団

学校募金 一般：96,677円 歳末：19,253円

小林市内の小・中学校 11校

法人募金 一般：452,190円 歳末：26,687円

アクティヴ情報システム(株)	アグリックス(株)	阿部歯科医院	アルス(株)	井口商事(株)
(有)井上新建材	(有)今井青果	内村病院	(株)栄興住宅	(株)エビスプロイラーセンター
(有)大浦(へいわ)	大坪歯科医院	お菓子の国たんぼぼ	オダオプロパン	折口商店
おりた歯科クリニック	カクイックスウイング	加藤牧場	亀田司法書士事務所	河野産業
木切倉整骨院	(株)木佐貫商会小林営業所	北原歯科医院	九州電気保安協会小林事業所	きりしまの園
蔵元動物病院	(有)小浦自動車	(株)光洋	(株)小園建設興業	(株)小林魚市場
(株)小林青果市場	小林中央眼科	坂尾薬局	坂口建設(株)	崎山鉄工建設(株)
(有)三栄住宅総合設備	(株)三共	下野秀晴税理士事務所	須木歯科診療所	すき酒造(株)
認定こども園太陽の子幼稚園	たじり商店	立山整形外科医院	種子田オート	富永気功整体院
(有)南九商会	日昇館ミートショップ	日通セキュリティシステム(株)	庭NAKAGAWA	野口板金工業(株)
野尻運輸(株)	(株)パシフィックシステム	鳩宿精肉店	花田耳鼻咽喉科	はまだストアー
(株)悠	BXルーテス(株)	ひろた内科クリニック	(有)藤丸食品	(株)淵上組
外園鮮魚精肉店	堀添電気管理事務所	前田内科医院	榎内視鏡内科医院	(有)南九州サッシ工業
宮崎酒井物産(株)小林営業所	(株)宮崎ヒューマンサービス小林営業所	特別養護老人ホーム美穂の里	(有)村田産業	(有)山下事務機
(有)ヤマシヨウ木材	ヨコヤマデンタルオフィス	吉蘭タイヤセンター	(有)吉村建材	吉行産業グループ
他2社				

職域募金 一般：795,349円 歳末：161,359円

小林市内友愛クラブ42団体 今別府いきいきサロン 北西1区友愛会 下孝の子ふれあいサロン
 天神サロン 響サロン 愛の訪問ボランティアコスモス会 小林市赤十字奉仕団
 小林市地域婦人連絡協議会 小林市民生委員児童委員協議会 はなみずきの会 NPO法人小林市SVCセンター
 坂元おまかせ隊 やっみろ会 小林市立図書館 職員一同 小林市役所 職員一同 募金箱(46ヶ所に設置)
 小林市社会福祉協議会職員互助会

その他の募金 一般：7円 歳末：750円(預金利息・他)

じぶんのまちを良くするしくみ



毎年、たくさんの方々のご協力により、募金活動を実施しています。募金は、総額の約3割が県内の福祉関係に助成され、残りの約7割は「小林市を良くするしくみ」として、小林市の福祉関係に助成されます。



～共同募金ありがとうメッセージ～

小林市視覚障がい者福祉会

「私たちの団体は、会費と共同募金の助成金で運営をしています。視覚障がい者にとって、外部と交流する機会を作ることは、なかなか困難なことでありますが、団体活動とおして、同じ障がいを持つ者同士の親睦を深めています。また、多くのボランティアの方にエスコートをしていただき楽しく活動できることにとても感謝しています。皆さんからのあたたかいご寄付が、私たちの活動に明るい光と勇気を与えてくれています。」優しく話されるのは、代表の山下美智雄さん。皆様からいただく共同募金が多く活動を支え豊かな心を紡いでいること実感した瞬間でした。



～市民の皆さんから入学祝い がんばれ 新一年生～

小林市内の小学校へ新入学される児童の皆さんに共同募金から学校指定の紅白帽子を贈っています。小林市の子育てを応援したいと、平成29年度から、この取り組みを始めました。

『ありがとうございます。』と、はにかみながら帽子を受け取る可愛らしい我が子の姿に、思わずお顔がほころぶ保護者様。『ほんとに感謝をしています。』とのあたたかな笑顔が、募金をしてくださった皆様に届きますように。

赤い羽根共同募金（一般） 6,889,176円

令和5年度のさまざまな福祉活動に活用されます

【高齢者福祉のために】 1,275,000円

- いきいきサロンへの活動助成
- 高齢者の見守り活動等

【支援が必要な方、また支援活動をする方のために】 1,257,000円

- 障がい者などの団体、ボランティアなどの団体へ活動助成

【地域の全ての人のために】 2,028,176円

- 地域の福祉活動（校区、地区社協）への助成
- 福祉バスの運行
- 福祉用具の無料貸出
- 火事など災害に遭われた方への支援

【宮崎県の福祉活動のために】 2,329,000円

- 県全域で活動する福祉団体への助成
- 災害時のための積立 など

歳末たすけあい募金 1,830,425円

令和4年度のさまざまな福祉活動に活用されました

【子どものために】 451,590円

- 令和5年度新入学児童生徒への入学準備支援
- 両親がいない子どもへの支援

【高齢者のために】 90,000円

- 在宅で長期寝たきりの方などへの支援

【地域の全ての人のために】 1,288,835円

※歳末たすけあい募金は、全額小林市で使われます。

たくさんのご協力をいただき
ありがとうございました



福祉の相談窓口

場所 小林市社会福祉センター本館
電話 地域福祉課相談支援係 ☎27-3277

社会福祉協議会では、総合相談窓口を開設し、福祉に関わる困りごとの相談をお受けしています。また、制度にあてはまらない困りごとやどこに相談したらよいかわからない困りごとについても、まずは受け止めて対応させていただきます。(電話・来所・訪問)

無料法律(弁護士)相談

要予約 1人30分まで

土地、金銭、家庭問題など、法律に関する相談に弁護士が無料で対応します。

6月13日(火)小林	8月 8日(火)小林
27日(火)小林	10日(休)須木
7月11日(火)小林	22日(火)小林
18日(火)野尻	9月12日(火)小林
25日(火)小林	19日(火)野尻
	26日(火)小林

相談会場

小林…小林市社会福祉センター ☎27-3277
 須木…須木総合ふるさとセンター ☎48-2073
 野尻…野尻町保健福祉センター ☎44-1206

実施時間 13:30~16:30 (いずれの会場も同じ)

小林市社協LINE相談

小林市社会福祉協議会の公式LINEアカウントにある相談窓口です。どの世代の方でも、自分のこと、家族のこと、福祉に関わる悩み事や困りごとをご相談ください。

対応時間 月~金 9:00~16:00 (投稿は24時間可能)

小林市社協@LINE相談

検索



会費・寄付金のご協力ありがとうございます!

皆様からご協力いただいた会費・寄付金は、地域福祉活動のために、いきいきサロンの助成や無料弁護士相談などに活用させていただいております。

令和4年度実績額

忌明け寄付金	3,163,000円
一般寄付金	1,036,657円
社協会費	2,576,380円

○社協はどのような財源で運営されているの?

小林市社協は、皆様からいただいております会費、寄付金、共同募金配分金等の「民間財源」、補助金、委託費、指定管理料等の「公費財源」、介護報酬等の「事業収入財源」を財源とし運営しています。

社協会費について

社会福祉協議会では小林市地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念である「ともしつながり支え合い、安心して笑顔で暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、毎年地域住民の皆様や団体の皆様から多くの社協会費をいただいております。この社協会費は、地域福祉事業の貴重な財源として活用させていただいております。今後とも地域福祉の推進のために社協会費のご理解とご協力をよろしく願います。

○社協は区・組加入促進に係る連携協定を締結しております。

社協会費Q&A

- | | |
|---|---|
| <p>Q. 会費はいくらなの?</p> <p>A. 1世帯あたり年額200円です。
※市町村社協により異なります。</p> | <p>Q. どのように納めればいいのか?</p> <p>A. 区・組に加入されている方は、区より納められています。</p> |
| <p>Q. なぜ会費を納めないといけないの?</p> <p>A. 地域住民(区・組に加入している)の皆様には、地域福祉の推進や社協活動に賛同していただく会員になっていただいております。会員として会費にご協力いただき、社協を応援していただき、小林市の地域福祉活動に参加するひとつの方法と考えています。</p> | |
| <p>Q. 社協会費を納めるのは強制ですか?</p> <p>A. 社協会費は任意です。小林市の地域福祉の推進や社協の活動にご賛同いただける方に、ご協力をお願いしています。</p> | |

あなたの福祉のパートナー 小林市社会福祉協議会

〒886-0004 小林市細野367番地1 kobayashi-syakyo@wish.ocn.ne.jp ホームページ: <https://kobayashi-syakyo.jimdofree.com>

- | | | |
|--|--|---|
| <p>■ 本所 (社会福祉センター本館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域福祉係 ● ボランティアセンター ● 総務係 ● 小林市共同募金委員会 ☎23-3466 ● 相談支援係 ● 障がい者相談支援事業所 ☎27-3277 ● 成年後見センターこばやし ● あんしんサポートセンター ☎23-5172 ● 小林市生活自立相談支援センター ☎23-0338 | <p>■ 介護センター (社会福祉センター別館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 居宅介護支援事業所 ☎23-5588 ● 訪問介護事業所 ● 訪問入浴介護事業所 ☎27-3733 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 小規模多機能ホーム茶のん村 ☎23-1212 ■ グループホーム茶のん村おんわ ☎27-3335 ■ 小林市地域包括支援センター ☎25-0707 ■ 小林市西部地域包括支援センター ☎27-2552 ■ 須木支所 ☎48-2073 ● 訪問介護事業所 ● パワリ八俱樂部 ■ 野尻支所 ☎44-1206 ● 高齢者給食センター |
| <p>■ シルバーランド望峰の里 ☎27-1000</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デイサービスセンター ● 小林高齢者給食センター | | |

市民の皆様へ社協活動をSNSなどにて情報発信しております。定期的に更新しておりますので、ご覧ください。

ふれあい・いきいきサロン

<https://tudo-i-kobayashi.jimdofree.com/>



小林市ボランティアセンター

<https://kobayashi-volunteercenter.jimdofree.com/>



小林市民生委員・児童委員協議会

<https://kobayashi-minjikyoku.jimdofree.com/>



ホームスタートこばやし

<https://homestartkobayashi.jimdofree.com/>



Facebook フェイスブッカー

小林市社会福祉協議会



Instagram インスタグラム

#小林市社会福祉協議会

